

令和4年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖・生理学 I		講義	三木 雪子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>人体の成り立ちと働きを知ることは、医学・医療の基本です。本講義では、人体の構造（成り立ち）と機能（働き）を各器官、組織、細胞のレベルで解説し、全体のつながり個別の役割りを考察します。まず、生体の基本単位である細胞と細胞によって構成される組織について解説し、人体を形作る骨格・筋について説明します。人体の機能を統合、調節する神経系はその一般的な構造と機能を解説します。</p>				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造と働きを理解し説明することが出来る。 ・細胞が組織を構成し、人体の各部の構造と機能の単位となることを理解する。 ・骨、骨格筋によってできる人体の形、位置関係を理解、説明できる。 ・神経系の構成要素を理解し、その中心となるニューロン（神経細胞）の構造と働きを理解、説明できる。 ・感覚系と神経系の関係を理解し、感覚系各部の構造と働きを理解、説明できる。 				
授業計画				
回	内容			
1	細胞－構造と機能、細胞小器官			
2	細胞－核、細胞分裂			
3	組織－構成と役割：上皮組織、結合組織と支持組織、筋組織、神経組織			
4	人体の軸、面、方向：骨と関節			
5	骨格系：頭蓋骨(1)			
6	骨格系：頭蓋骨(2)			
7	骨格系：体幹、四肢の骨			
8	骨格筋(1)：頭頸部、胸部、腹部の筋			
9	骨格筋(2)：背部、四肢の筋			
10	筋の構造と働き			
11	細胞膜の働き：細胞間結合、膜輸送		神経組織の構成：神経の機能－膜電位	
12	神経の機能機能－活動電位の発生と伝導、シナプス伝達			
13	神経系の成り立ち 感覚系 I－体性感覚、味覚、嗅覚			
14	感覚系 II－視覚			
15	感覚系 III－聴覚、平衡覚			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%			
レポート				
小テスト				
平常点	10%	授業態度、提出物によって評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
からだの構造と機能	Aシェフラー・Sシュミット		西村書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德		金芳堂	
自由記載	特に購入する必要はありません。			
備考				